

## ⑥吉田 典央氏（キリンビール(株)仙台工場エンジニアリング環境安全担当部長）

2011年3月11日、工場内全域が浸水、同時に停電しました。発災1時間で481名の従業員とお客様の全員が避難しました。翌日、仙台市に支援を要請し、自衛隊輸送車にて全員が避難所に移動しました。ビールタンク4本が倒壊、倉庫の壁の破損、資材・製品の広域にわたる散乱などの大きな被害がありました。ライフラインは7月に復旧しましたが、清掃・回収作業は困難を極めました。工場が一体となって共通部分の機能復旧を優先していき、ようやく9月に仕込みの再開、11月に出荷が再開しました。

今回の想定外の津波被害を受けて、キリンビールでの被災3工場の経験を持ち寄って、防災計画の強化を図りました。具体的には、避難場所や避難経路の見直し、津波の高さと避難場所の確認、一斉放送設備の整備を行いました。また、より安全な工場にするために手すりの設置、エレベーター閉じ込め対策、備蓄品の整備を行いました。

キリンビールでは、3年間で60億円を拠出して、復興支援プロジェクトを行っています。ハードの復興応援の段階は終了し、現在は、従来から現地が抱えていた社会課題を解決するまちづくり応援を行っています。取り組み例としては、女川ブランディングプロジェクトへの支援（水産加工食品のブランド化支援）、東北農業トレーニングセンタープロジェクト（将来にわたる担い手、リーダーの育成支援）、遠野バドロンプロジェクト（“ホップの里からビールの里へ”をテーマにした町おこしの支援）等です。

更に、「地域創生へのチャレンジ」として、地域オピニオンリーダーとともに、地域に根ざした商品の展開を行っています。また、壊滅的な被害を受けた沿岸部の防災林の植林活動を地元の人々とキリンビールの技術をあわせて行っています。

